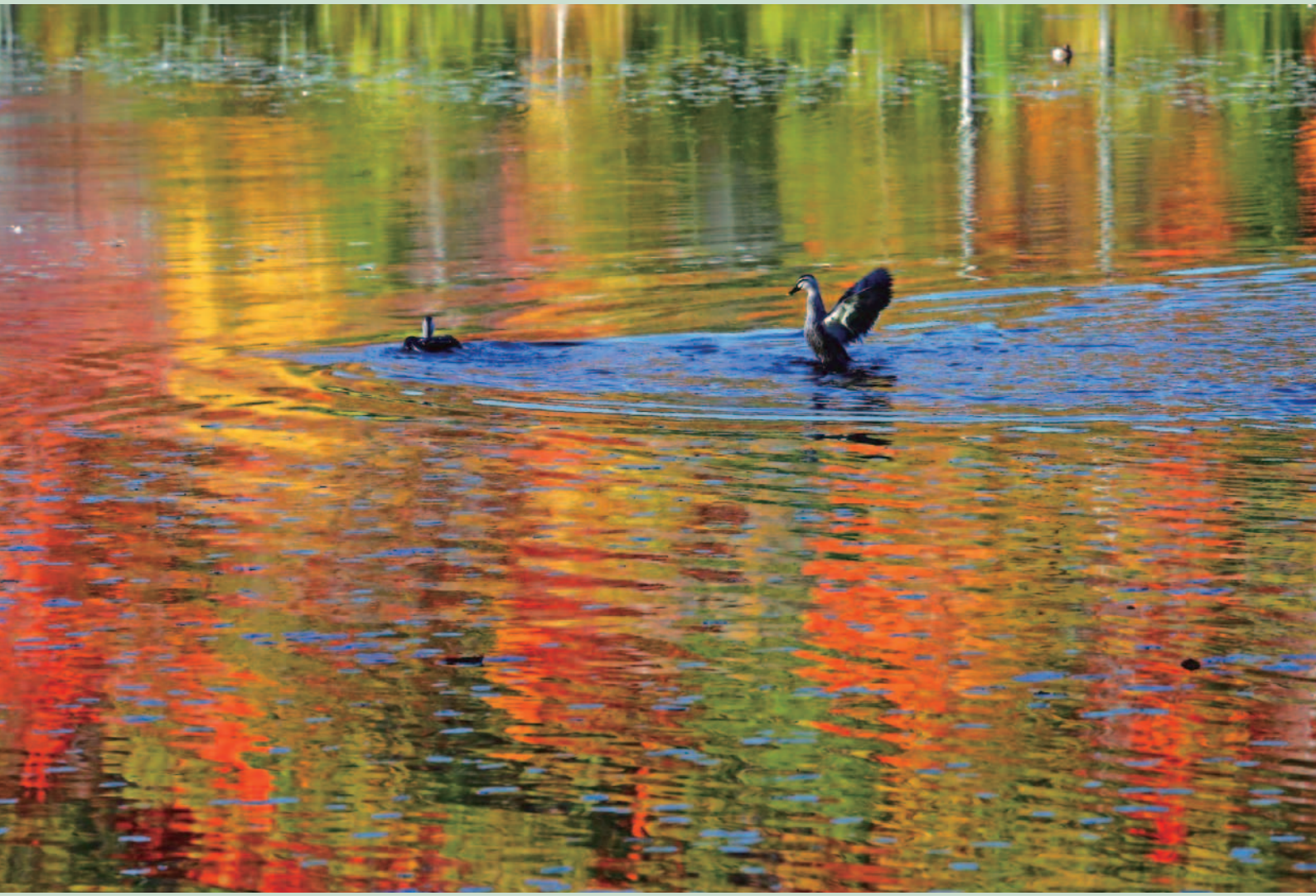
令和３年10月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第686号

林業福島

No. 686

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫



10 2021

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■秋　　彩

ゼロ災でなく危険ゼロに向けて
～「林業労働災害撲滅研修」～

林業・木材製造業労働災害防止協会
福島県支部長　平　子　作　麿

林材業労災防止協会福島県支部の業務運営につきましては、平素よりご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会は、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、対策を行いながら伐木等の業務に関する特別教育や刈払機取扱いの安全講習、現場の安全パトロールを行い林業作業における安全意識の向上に努めております。

しかしながら、林業労働災害の発生頻度は全産業平均の約十倍となっており、全国の死亡者数も三五名前後で推移し高止まりの状況です。災害を分析すると約六割は、チェンソー作業に起因するものであり、年齢別では、六〇歳以上が多い傾向にあります。

こうした中、当協会は、林野庁補助事業「林業労働災害撲滅研修」が本県で開催されることから、主催者である㈱森林環境リアライズとともに、開催のＰＲや研修会運営に協力してきました。研修はベテラン作業員を対象に七月一日、二日、八月二六日、二七日の四日間開催されました。

ＪＬＣ（日本伐木チャンピオンシップ）の審判員でもある林業技能教育研究所所長の飛田京子さん、樵屋代表の武田一吉さんを講師にチェンソー操作の基本や参加者がチェンソーを操作してカットした受け口、追い口、ツルなどの幅や角度等を検測して数値化するなど新しいチェンソー伐倒技術とその指導法について学びました。

研修生は、実務二〇年以上の経験豊富なベテランですが、数ミリの狂いもなく目標方向に受け口を作ることに苦労していました。研修生の中には、職場の同僚と練習を重ねて来た方もおりました。

さて、オーストリアは、日本と同じくチェンソー伐倒の多い国ですが、同じ素材生産量でありながら、死亡災害の発生率は、日本の四分の一以下となっています。オーストラリアのチェンソーの講習会は十四日間となっており、時間数で日本の五倍、実技重視のカリキュラムであり、最終試験にパスしないとチェンソーの修了証が発行されないと言うことです。来年四月から「林業アカデミーふくしま」がスタートします。当協会はチェンソーの基本操作と安全をポイントにバックアップしていきたいと考えております。

研修会の様子（新しいチェンソー伐倒技術とその指導法）

《もくじ》

とびら
ゼロ災でなく危険ゼロに向けて
～「林業労働災害撲滅研修」～
林業・木材製造業労働災害防止協会
福島県支部長　平　子　作　麿……1
「林業アカデミーふくしま」令和４年度
研修生相談会を開催しました！……2
林業研究センターだより
シイタケ原木における^{137}Csの分布が子実体への
^{137}Cs移行係数に及ぼす影響……3～4
令和４年度福島県予算編成に対する要望聴取会
……5
災害に強い林道整備の推進……6
「第52回岩手県緑の少年団大会」に参加しました…7
普及指導員通信……8
森林管理署メモ……9
木連だより……10
木の文化を育む㉛……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

「林業アカデミーふくしま」令和四年度研修生相談会を開催しました！

福島県林業研究センター

県では、令和四年四月開講の林業アカデミーふくしま就業前長期研修の研修生募集に向け、七月二六日(月)と八月一日(日)の午前と午後の計四回、「林業アカデミーふくしま」令和四年度研修生相談会を開催しました。相談会は県林業研究センターで行い、林業アカデミーふくしまに興味を持っている方々を対象として、「林業とはどのような仕事なのか？」や「アカデミーではどのようなことを学べるのか？」などを知っていただくイベントを企画し、延べ二七名の方に参加いただきました。

相談会では、林業アカデミーふくしまの概要説明と個別相談のほか、林業を知っていただくイベントとして、「ドローン操作実演」、「チェーンソー伐倒実演」、「ハーベスタシミュレータ操作体験」、「高性能林業機械による伐倒実演」を行いました。

「ドローン操作実演」では、林業における具体的なドローンの活用方法の説明後、屋外で実際にドローン操作を体験していただきました。参加された方々からは「ドローンカメラの映像がこれほど精細とは思わなかった」等の感想など、林業の先端技術を多くの方々に楽しみながら知っていただけた様子でした。

林業の先端技術としては他にも、「ハーベスタシミュレータ操作体験」でテレビゲームの様な感覚でハーベスタの操作を体験していただき、参加した高校生は熱心に取り組んでいました。また、「高性能林業機械による伐倒実演」では実際にハーベスタやフェラーバンチャ（ザウルスロボ）による伐倒実演後、参加者に機械に乗車していただいて、林業従事者がいつも見ている景色を体感していただきました。

また、林業の現場で最も触れる機会が多いであろう「チェーンソー伐倒実演」では、二〇メートル級のスギの伐採実演を見学いただきました。立木が倒れるときの地響きと迫力、また、狙った場所に確実に倒す技術に、多くの参加者が感嘆しつつ、危険が伴う作業の厳しさを感じているようでした。

相談会の二日間はなんとか天候も持ちこたえ、多くの皆様のご協力の下、充実した内容とすることができました。参加いただいた方々の中から一人でも多く、福島の林業を担う未来の杣人（そまびと）が生まれることを願っております。

なお、県では林業アカデミーふくしまの個別相談を随時実施しております。アカデミーに関する疑問・質問や、実際に会って話を聞きたいなどご希望がございましたら、県林業研究センター企画研修部までお気軽にお問い合わせください（ＴＥＬ　〇二四―九四五―五九七四・五九七五）。また、林業アカデミーふくしまの記念すべき第一期生の募集も、九月十三日から始まりました。申請期間や選考日など詳しい内容は県林業研究センターホームページのリンクからご覧できますので、そちらもご確認ください。

「チェーンソー伐倒実演」の様子

「高性能林業機械による伐倒実演」の様子

募集要項はこちらから↓

林業研究センターだより

シイタケ原木における^{137}Csの分布が子実体への^{137}Cs移行係数に及ぼす影響

シイタケ原木

福島県林業研究センター

１　はじめに

原発事故で本県のきのこの生産は大きな打撃を受けましたが、十年が経過した現在、菌床栽培のきのこの生産量は回復傾向にあります。一方で、原木栽培は、依然として一部を除いて出荷制限が続くなどの原発事故の影響は続いています。

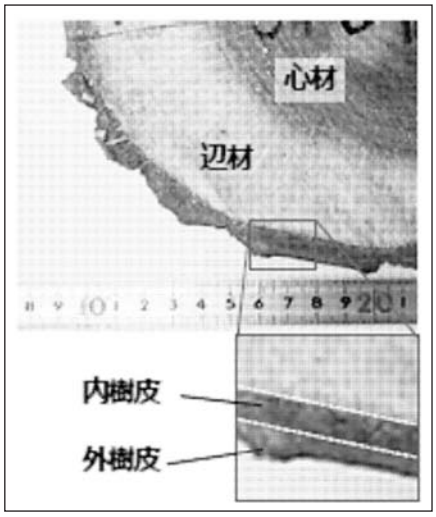
原木栽培における放射性セシウム（以下、RCs）汚染は、大きく分けて、使用する原木等の「資材に由来するもの」と、ほだ場を中心とする「生産環境に由来するもの」の二通りの経路が考えられます。また、原木は生物由来の資材であり、同一地域で伐採された原木でも、汚染の状況や原木から子実体へのRCs移行係数（原木から子実体へのRCsの移行しやすさを表す係数）には「ばらつき」が見られます。当センターでは試験研究を通して汚染メカニズムの解明や汚染低減対策の検討に取り組んでいますが、本稿では、この「ばらつき」の原因について、これまでの研究から新たに分かってきたことをお伝えします。

２　試験の目的

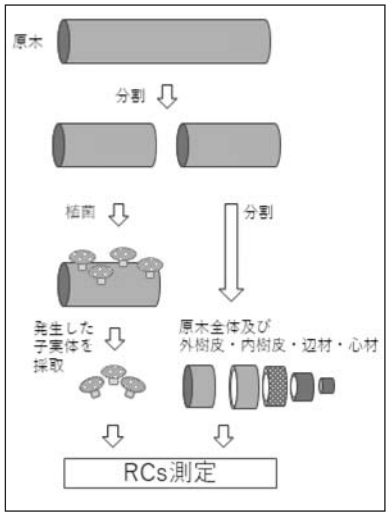
着目した点は、きのこ用原木のRCs汚染の分布です。まず、きのこ用原木の代表的な樹種であるコナラの組織的な構造を見ていきましょう（図―１）。木口面から観察すると、大まかには樹皮と木部に分かれています。樹皮は外樹皮と内樹皮に、木部は辺材と心材に分けられます。

これら部位毎のRCs汚染の状況には原木一本毎に「ばらつき」があると考えられますが、詳しく見ていくことで「子実体のRCs汚染が起こりやすい原木の条件」が分かります。例えば、植菌後に仮伏せして培養しているほだ木の木口面を見ると、主に辺材に菌糸紋が広がっていることが多く見られますが、これを踏まえると、「辺材にRCs汚染が多い原木では、ほだ木利用の早い段階において子実体のRCs汚染が起こりやすい」という仮説が成り立ちます。

これを検証するため、次の試験を行いました。



図－１　原木の木口面



図－２　実験の手順

３　試験の材料と方法

(1)　原木シイタケ試験栽培

平成三〇年四月及び令和元年四月に、予め一本毎にナンバーテープをつけた原木五六本（A地区：十八本、B地区：十八本、C地区：二〇本）にシイタケ（秋山A―５６７、オガ菌）を植菌し、生産環境由来のRCs汚染がないようビニールハウスで管理しました。二夏経過後に浸水刺激を与え、ほだ木一本毎に発生した子実体を採取・粉砕混合してU８容器に詰め、^{137}Cs濃度を測定しました。併せて含水率を測定しました。

(2)　原木の各部位の分析

植菌したほだ木に関し、あらかじめチェンソーで鋸断した原木の一部を外樹皮、内樹皮、辺材、心材に分割し、ノミ等で粉砕したものを一・五Lマリネリ容器等に充填し、^{137}Cs濃度を測定しました。併せて重量と含水率を測定しました。

(3)　データの解析

原木の汚染状況を把握するため、原木一本毎に四つの部位の^{137}Cs濃度や^{137}Cs量（^{137}Cs濃度×重量）を求めて原木内の^{137}Csの分布を数値化しました。

また、原木の汚染状況と

子実体の汚染状況との関連を明らかにするため、子実体^{137}Cs濃度や移行係数（子実体^{137}Cs濃度（全乾）／原木^{137}Cs濃度（含水率一二一パーセント換算））を求めて、上記のデータと併せて解析しました。

４　結果と考察

上記の方法で移行係数を算出したところ、その値にはばらつきがあったため、これを便宜的に１未満、１～２未満、２以上の三つの群に分けて比較することとしました。

群毎に原木四部位の^{137}Cs量の分布割合の平均値をまとめると、原木に含まれる^{137}Csの多くは主に外樹皮と辺材に分布している一方で、群の間には差異が見られました。（図―３）。

そして移行係数が高い群、すなわちRCsが移行しやすい群ほど、辺材の占める^{137}Cs量の分布割合が高くなる傾向がありました。

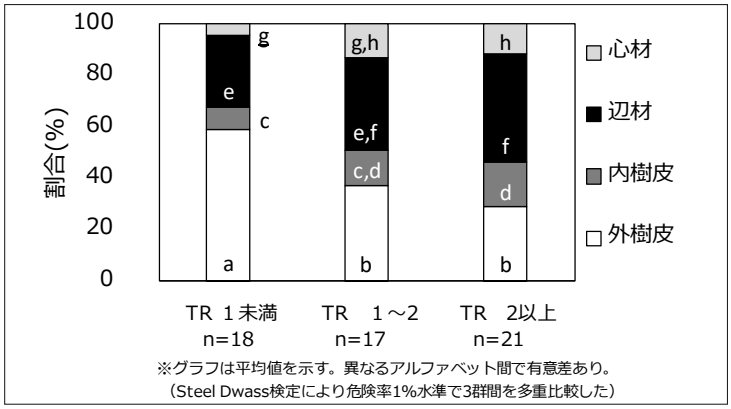
さらに、子実体^{137}Cs濃度と辺材^{137}Cs濃度の関係をグラフすると（図―４）、辺材^{137}Cs濃度が高いほど、その原木から発生した子実体^{137}Cs濃度が高いという強い正の相関関係が認められました。これらは、「辺材にRCs汚染が多い原木では、ほだ木利用の早い段階において子実体のRCs汚染が起こりやすい」という仮説を裏付ける成果になると考えます。

５　まとめ

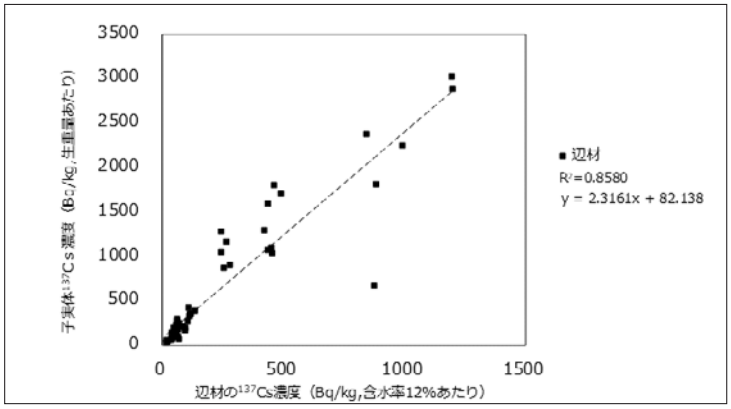
既報の研究事例では、辺材及び心材と子実体の^{137}Cs濃度には強い正の相関がある等の報告（栃木県林業研究センターの平成二九年度業務報告）があり、本研究と同様の傾向が示されています。

原木から子実体への^{137}Cs移行係数にはばらつきがありますが、今回得られた結果から、その原因の一つとして原木内のRCs汚染状況にはばらつきがあり、汚染状況の違いが子実体のRCs汚染に影響を及ぼしていることが明らかになりました。さらに、将来的なきのこ用原木利用の可能性を検討する上では、辺材のRCsの汚染状況が重要な指標となることも示唆されました。

なお、原木の部位別の^{137}Cs分布は地域間や地域内で異なると考えられ、また、経年による変化にも注視していく必要があります。現在、さらに多くの地域から採取した原木を追加しながら、二年目に発生した子実体においても同様の結果となるのか等を継続して調査しているので、新たな知見が得られたらお伝えしていきたいと思います。



図－３　移行係数により３つの群に分けた場合の原木各部位の^{137}Cs量の割合



図－４　子実体及び辺材の^{137}Cs濃度の関係

福島の森と木の親子体験オンライン教室2021　参加者募集

プログラム１　福島の森のハカセになろう

プログラム２　森と木に親しもう

プログラム３　森のめぐみ　なめこ収穫

◆参加者には、配信を見ながら一緒に楽しめる体験キット（端材クラフトキット&なめこ栽培キット）をプレゼント！

〈YouTubeにて参加者限定生配信〉

1　配信日時：令和３年11月13日(土) 14：00～15：45
2　参加定員：500家族（先着順）1000名程度
　対 象 者：小学校中学年以上の親子　参加(視聴)料：無料
3　申込締切：令和３年10月29日(金)17:00(必着)
4　お申込受付・問い合わせ先
　(一社)全国林業改良普及協会シンポジウム事務局
　電　話：03－3584－6625
　ＦＡＸ：03－3583－8465
　担当者：本永、三石、森本

※プログラム２の講師は、福島県林研グループ連絡協議(田人林業研究会)の緑川さん、下條さんです。

令和四年度 福島県予算編成に対する要望聴取会

福島県林業会議

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係十団体で構成しています。

八月二五日、令和四年度福島県予算編成に対する県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では森林・林業の再生なくして福島県の東日本大震災からの復興はないとの強い思いから、更に復興の加速化を図り、森林を将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、表に掲げる「第二期復興・創生期間における森林林業の再生への取組の継続」など十項目を要望しました。

県議会各会派からは「要望事項はしっかり受け止めた。形になるよう働きかけていく。」との力強い回答をいただきました。

自由民主党福島県議会議員会

【令和４年度福島県予算編成に対する要望事項】

1　第２期　復興・創生期間における森林林業の再生への取組の継続	
・ふくしま森林再生事業予算の確保 ・きのこ原木林再生に向けた事業実施と予算の確保 ・放射性物質の動態調査の継続と一元的な管理	など
2　林業担い手及び林業事業体の確保・育成	
・「林業アカデミーふくしま」における林業人材育成のための体制整備 ・新たな担い手育成支援及び林業事業体が行う雇用管理の改善や安全対策の支援	など
3　森林資源の循環利用促進	
・計画的な主伐・再造林促進のための支援制度拡充 ・県産材の利用の推進及び木材需要の新たな拡大に向けた支援 ・新型コロナウイルス及びウッドショックの影響を踏まえた木材生産への支援、木材需要拡大策の推進、林業・木材産業従事者の雇用確保	など
4　福島森林環境基金制度の円滑な運用	
・継続的な間伐や里山整備、森林資源の利活用、意識の醸成など、多用な取組が可能な基金制度の円滑な運用	
5　森林づくりの推進	
・ふくしま植樹祭の開催支援 ・森林づくり指導者の養成と森林環境学習の推進 ・森林づくり推進拠点施設の充実	など
6　避難指示区域等の森林管理の具体的取組の推進	
・避難指示区域等の森林管理及び安全・安心な木材供給システムの取組への着手 ・環境放射線の影響低減のための実証試験の継続実施	など
7　森林経営管理制度における市町村等への支援強化	
・市町村を支援する仕組み構築と実施 ・市町村、林業経営体のIT技術活用に向けた支援	など
8　森林の適正な整備に向けた支援	
・特定母樹等の種苗の供給体制整備と苗木生産者への支援 ・森林整備面積の拡大を図る円滑な事業推進、造林補助制度の弾力的運用など降雪期間に配慮した取組及び林業専用道、森林作業道等の計画的整備、長寿命化支援	など
9　きのこ等特用林産物の生産振興	
・高騰した生産資材の導入負担軽減、農産物安全認証制度の取得支援 ・県オリジナル品種の産地化推進、会津桐の振興	など
10　治山施設等の整備	
・防災・減災・国土強靱化のための５か年加速化対策の基づく対策の推進 ・山地治山対策や海岸防災林再生の推進及び維持管理予算の確保	など

福島県議会県民連合議員会

日本共産党福島県議会議員団

公明党福島県議会議員団

災害に強い林道整備の推進

福島県森林整備課

福島県内の民有林林道は、令和元年度末現在、一，七三一路線、総延長四，〇九五・五キロとなっており、市町村がパトロールを行い、法面の除草、側溝の土砂撤去、倒木の処理、落石の除去、路面の補修などの保守作業を通して、利用者が安全に走行できるように努めています。

また、トンネルや橋梁などの重要な施設について点検や補修に関する個別施設計画を策定し、定期的に点検を行い、コンクリート構造物の劣化、鋼材のさび・亀裂などの異常があれば修繕、更新等の実施により長寿命化を図ることとしています。

林道の管理においては、このような機能の維持だけでなく、林道をとりまく状況の変化に応じて機能を向上させる必要があります。

近年、豪雨や台風災害の頻発化、激甚化する自然災害に対応するため、国において平成三〇年に「防災・減災、国土強靭化のための３か年緊急対策」（以下「３か年対策」という。）を策定し、特に緊急に実施すべき施策について取り組んできましたが、取組みの更なる加速化・深化を図るため令和三年度から令和七年度まで「５か年加速化対策」として、追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的かつ集中的な対策を講ずることとしています。

県においては、令和三年四月に「福島県国土強靭化地域計画」を策定し、防災・減災の観点から基幹交通の寸断に伴う輸送機能の停止や孤立集落の発生を回避するための代替輸送路、迂回路としての役割を期待できることから、林道の整備を推進することとしており、このような国や県の施策を踏まえた国土強靭化に向けた事業を紹介します。

一　山村強靭化林道整備事業

林野庁が、持続的な森林経営の実施に向けて、強靭で災害に強い幹線林道の開設・改良を集中的に推進するため、災害時に代替路となる幹線林道の整備を図る「山村強靭化林道整備事業」を創設したことを受け、当県では、令和三年度において、県営事業として会津美里町大滝線で開設、南会津町の七ヶ岳線で改築の二路線、団体営事業として会津若松市の一ノ渡戸四ツ屋線で改良一路線を実施しております。

林道山形田代線（塙町）
（緊急自然災害防止対策事業による舗装）

二　緊急自然災害防止対策事業

国において、令和元年度に「３か年対策」と連携した防災インフラの整備を推進するため、国庫補助事業の要件を満たさない事業に対する地方債を活用した緊急自然災害防止対策事業を創設しました。

県においては、令和元年度と二年度に、塙町など四市町の一五路線で路面洗掘の拡大防止を図る舗装や、路肩崩落を予防する擁壁の新設などを実施し、林道の機能強化を図っています。

林道は、森林の整備や適正な管理、木材の搬出等を効率的に行うものであり林業にとって重要な生産基盤であるだけでなく、山村地域の生活環境改善やレクリエーション施設へのアクセス道路など様々な目的で利用されています。

今後も、適切な維持管理を行いながら、様々な事業を活用し、国土強靭化に資する林道の整備や施設の長寿命化を図ってまいります。

森づくり子ども大使派遣事業

「第52回岩手県緑の少年団大会」に参加しました

（公社）福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

森づくり子ども大使派遣事業は、本県の子どもたちに、森や緑とふれあう野外活動や県外の子どもたちと友情を育み絆を深める機会を提供するため、県内の緑の少年団を県外で実施される緑の少年団大会に派遣する取り組みで、平成27年度より行っています。

今年度は令和３年７月30日（金）、岩手県県民の森（八幡平市）において開催された「第52回岩手県緑の少年団大会」に、会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団２名の児童を派遣しました。

開会式

当大会は、例年１泊２日（テント泊）の日程で実施されていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で１年間開催延期となり、今年度は感染症対策を十分に講じた上で日帰りプログラムに変更し、川南小学校「ホタルの里」緑の少年団をはじめ、岩手県の緑の少年団12団、秋田県の緑の少年団１団の計14団156名と育成会等60名の合計216名が参加しました。

植樹会

木工工作（一輪挿し）

大会当日は好天に恵まれ、午前中に「開会式」・「植樹会」、午後からは「木工工作」・「樹木観察」・「閉会式」の各催しが、全て屋外でマスクを着用し行われました。

「植樹会」では、それぞれの少年団がミズナラなどの苗木約200本を丁寧に植えました。植栽後は、苗木を雑草から守るために、丸太の輪切りを囲み置きしました。

「木工工作」では、令和５年に岩手県で開催予定の「第73回全国植樹祭」で使用するプランターカバーと、自宅用の一輪挿しを作りました。岩手県のスタッフの方から作り方について説明を聞き、怪我をしないように取り組みました。

樹木観察

「樹木観察」では、岩手県のスタッフの方に県民の森園内の樹木の特徴等を教えてもらい、熱心に観察用紙に書き留めながら、約１時間かけて観察してまわりました。

川南小学校の児童たちは、昨今のコロナ禍により普段の生活や学校生活で何かと制限されることが多い中、１日だけでも県外でこうした体験活動をすることができ、有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

今後も、子どもたちにコロナ禍でも、感染症対策に留意しながら、こうした機会の提供に努めてまいります。

プランターを前に記念撮影（全体の約半数）

普及指導員通信

山菜の出荷に向けた取り組み

「古殿町産くさそてつ(こごみ)の出荷ができるようになりました。」

県中農林事務所
林業普及指導員　阿　部　由紀子

・はじめに

季節を感じられる山菜は、農産物直売所で人気のある商品です。

しかし、原発事故による放射性物質の影響により、食品の基準値100Bq／kg（以下、基準値という。）を超えたため、国から出荷制限の指示等が出され、出荷できない品目があります。

県中地方の山菜についても、出荷が制限された品目及び市町村があり、出荷制限の解除を望む声を生産者や直売所から多く聞きます。

その中で今回、市町村、森林組合、直売所、生産者と協力し、出荷制限の解除及びその後の出荷に結びついた取組を紹介します。

・取組内容

古殿町のくさそてつ（こごみ）（以下、「こごみ」という。）は平成24年５月に基準値を超えたため、出荷制限の指示が出されました。古殿町では、山菜の栽培にも力を入れており、町としても出荷制限解除への強い要望があったことから、こごみの出荷制限解除に向け、連携して調査に取り組むことができました。

出荷制限解除のためには、こごみの放射性物質濃度が安定して低水準で低下傾向であることを継続的な調査により確認するとともに、町全域から満遍なくこごみを採取し、安定して基準値を下回ることが確認できるデータが必要になります。

調査にあたっては、こごみの発生情報や採取について、古殿町やふくしま中央森林組合の協力を得ながら、平成28年５月から令和２年６月にかけて、町内から111件のこごみを採取し、検査したデータを整理のうえ、解除を申請する資料を作成しました。こごみに限らず山菜の多くは、旬の期間が短く、また、発生についても天候に大きく左右されるため、採取時期を見極めることが難しく、可食できる状態のものを検査可能な重量確保することに苦労しました。

出荷制限解除後の出荷計画についても、古殿町と打合せをし、町内の直売所「道の駅おふくろの駅」と情報共有を図ることで、出荷を希望する生産者に対応することができました。

こごみ

・おわりに

古殿町のこごみは、令和３年４月９日に出荷制限が解除され、今シーズンの出荷時期に間に合いました。

ただし、出荷するには生産者情報の登録と出荷前のモニタリングにより安全性を確認する必要があります。

そのため、生産者には検査結果が分かるまで、数日出荷を待っていただきましたが、安全性が確認されたことで直売所の棚にこごみが陳列され、販売できる状態になったことは出荷者も購入者も大変喜ばれ、本当にうれしく思いました。

県中管内では、まだ、出荷が制限されている山菜の品目があることから、今後も出荷制限解除に向けた調査を関係者の皆さまと続けていきます。なお、出荷制限等の品目については、引き続き出荷・販売をしないようご協力をお願いします。

直売所で販売されました。

森林管理署メモ

国民参加の森林づくり

福島森林管理署
白河支署

当署管内で取り組まれている国民参加の森林づくりによる森林整備等についてご紹介します。

赤面太郎の森

白河市内から眺望できる赤面山の中腹には、かつて多くのスキーヤーで賑わっていた白河高原スキー場がありました。賑わうことのなくなったゲレンデは、降雨などにより数え切れないほどの流水痕が走り、山腹崩壊が危惧されていました。このような状況の中、平成二七年三月「赤面山を緑にする会」が国民参加の森林づくり事業を活用し、ふれあいの森「赤面太郎の森」を当署と協定を締結、会員の皆さんが中心となってスキー場跡地の植生復元に向けたボランティア活動として取り組まれ、これまでにヒメヤシャブシなど現地採取の種から育てられた苗一、八〇〇本余りを植栽、その苦労が実を結び植生を回復してきている箇所も見られるようになりました。本年五月にもコロナ感染症防止対策をとりながら植林活動が行われ、参加者六〇名のなかに当署の職員も入って、ボランティアの皆さんと共に汗を流しました。

芝山ふれあいの森

いわき市、古殿町、平田村の三市町村にまたがる芝山の頂上付近に「芝山自然公園」があります。その芝山の自然の風景を保護するなどを目的に、芝山美化協力会とふれあいの森「芝山ふれあいの森」の協定が当時管理区域内あった棚倉森林管理署との間で平成十三年三月に締結されました。毎年山開きのほか、美化清掃活動を行い歩道周辺などの草刈り、歩道の整備など森林ボランティア活動にも取り組まれ、平成二九年度の第二九回森林レクリエーション地域美化活動コンクールで奨励賞を受賞しています。昨年、今年とコロナ渦により山開きは中止となりましたが、毎年実施してきた美化清掃活動はコロナ感染症防止対策をとりながら作業を行ない、支署長はじめ四名がボランティアの皆さんと一緒に草刈りや樹木の剪定作業に大量の汗を流しましたが、作業後は爽やかな笑顔を見せていました。

おもてごう天狗の森

当支署では、このほかに「遊々の森」として四件協定を結んでいます。その中のひとつ「おもてごう天狗の森」は、平成二〇年十月に「おもてごう里山クラブ」協定を締結しています。「日本一遅い山開き」は、県内のテレビ等でも取り上げられていますので、耳にした方も多いかと思いますが、山開きばかりではなく歩道の草刈りや整備も年に数回取り組まれています。今年も十一月に山開きが行われると思います。その日を待っている読者の皆さん「天狗の森」でお目にかかりましょう。

植樹状況

「赤面太郎の森」令和３年５月30日
植樹ボランティア　植樹後の集合写真

「芝山ふれあいの森」令和３年７月11日
芝山清掃活動　開会式

作業風景

木連だより

内装木質化がもたらす効果 その2

（令和2年度　内装木質が小児患者等に及ぼす影響効果調査より）

福島県木材協同組合連合会

令和二年六月ＲＣ造から木造（縦ログ構法　木材使用量　二七六・一九立方㍍）に改築したクリニックを対象（対象施設の概要 参照）に内装木質が医療スタッフ・来院者にもたらす効果の実証を行いました。来院者の施設に対する評価等についてのアンケート調査結果は、六八〇号で報告いたしました。

今回は、ＲＣ造から木造に変わったことによる患者（子供）及び保護者の行動変化について報告いたします。

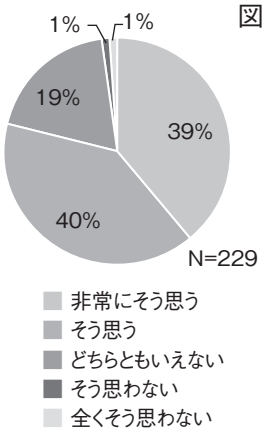
■旧病院概要
- 延床面積：約520.07㎡
- 機　　能：診療所＋病児保育
- 竣 工 年：1986年

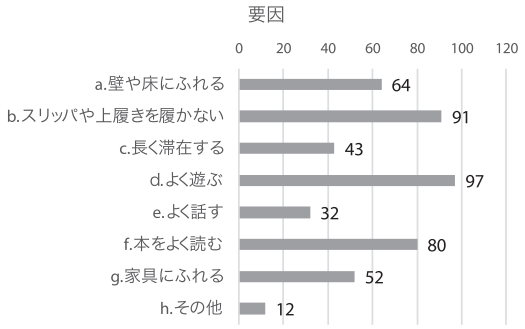
■新病院概要
- 延床面積：654.81㎡
- 機　　能：診療所＋病児保育
- 竣 工 年：2020年

1　子供の行動変化

子供の行動変化については図１のとおりです。「待合室が木の空間に変わってお子さんの行動に変化があったと思いますか。」という設問では、四〇㌫が「そう思う」、次に三九㌫が「非常にそう思う」と全体の約八割が行動に変化があったと回答がありました。その要因（選択・複数回答可）からは、「よく遊ぶ」、「スリッパや上履きを履かない」、「本をよく読む」、「壁や床にふれる」という順位の回答を得ました。お子さん行動変化は、「よく遊ぶ」や「本をよく読む」などの待合室での過ごし方に変化があったことが把握できました。

図１　子供の行動変化



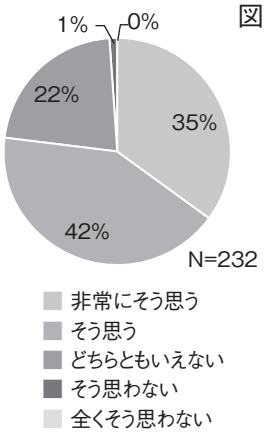


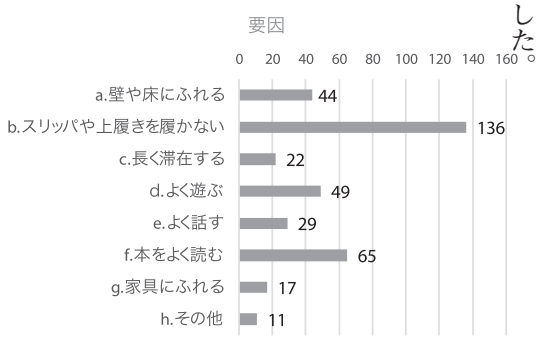
2　保護者の行動変化

保護者の行動変化については図２のとおりです。「待合室が木の空間に変わってあなたの行動に変化があったと思いますか。」という設問では、四二㌫が「そう思う」、次に三五㌫が「非常にそう思う」と全体の七七㌫が行動に変化があったと回答がありました。その要因（選択・複数回答可）からは、「スリッパや上履きを履かない」、「本をよく読む」、「よく遊ぶ」、「壁や床にふれる」という順位の回答を得ました。

子供・保護者ともに「スリッパや上履きを履かない」や「壁や床にふれる」等の木に触れるという行動変化が確認されました。

図２　保護者の行動変化





木の文化を育む㉛

野遊びのある暮らし～グロンボロンの森～（Roots猪苗代）

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授　阿　部　恵利子

○はじめに

コロナ禍を契機に社会や人々の生活様式が変化している今日、大自然の中で開放的な気分が楽しめるアウトドアは、蜜を回避できるアクティビティとしても人気が高まっています。豊かな自然に恵まれた猪苗代町においても、近年、里山をフィールドにしたアクティビティが注目されており、新たな発見や価値を見出す場となって人々の暮らしを心地よく活気あるものにしています。

○家づくりと暮らしの学校

昨年、三〇周年を迎えた『株式会社Roots（旧株式会社グリーンライフ）』（猪苗代町）は、二〇一五年「家づくり」と「暮らし」の分野で活躍する仲間とともに新しい企業ブランド『Roots（ルーツ）』を起ち上げました。〝健康な家、本物と育てる暮らし〟をテーマに、一つ一つ丁寧に育てていこう、という想いを込めて、「家」を造るだけでなく、より一層豊かな暮らしをめざした「幸せな暮らし」を提案しています。また、その想いを体現する場として、家づくりと暮らしの学校『Roots猪苗代』を運営し、県内外の企業と連携しながら、様々なイベントや地域交流を行っています。

○人の駅構想計画

株式会社Rootsは、廃校となった旧山潟小学校（猪苗代町）をリノベーションしたシェアオフィスに参画しています。オフィスには、「工務店」Roots工務店、「Shop」株式会社三方舎、「カフェ」FLOS HERBA、「プレーパーク」グロンボロンの森、それぞれに従事する専門家が集い〝自然を暮らしに取り入れる〟をコンセプトに『Roots猪苗代』として運営しています。また、猪苗代町やNPO法人と連携を図りながら、人々の流れと賑わいを取り戻すための公共事業「人の駅構想計画」にも取り組んでおり、子どもの遊び場プレーパーク『グロンボロンの森』は地域を活性化する一つの柱となっています。

○グロンボロンの森

プレーパーク『グロンボロンの森』の名は、デンマーク語で、「グロン（Grøn）」は「みどり」、「ボロン（børn）」は「こどもたち」に由来しており、『グロンボロンの森』プレーリーダーの大室由佳さんがつくった造語です。プレーパークは自分の責任で自由に遊ぶこどもの遊び場で、手作りの遊具や誰でも自由に使える遊び道具、森の魅力を存分に楽しめるフィールドを毎週日曜日に無料で開放しています。豊かな自然の中で、焚火や工作のほか、ハンモック、ターザンロープ、砂遊び、雪遊びなど、四季を通じて子どもから大人まで自由にアウトドアを楽しめる環境が整っており、地元の農家で栽培した野菜販売コーナーのほか、野菜や花を育てて収穫する体験型アクティビティ「キッズガーデン」など、野遊びや自然の恵みを享受できる沢山のプランがあります。さらに今後は、遠足や親子行事として、自然の中でのびのびと遊ぶ幼稚園・保育園の「園外保育」の受け入れも計画しています。

○まとめ

コロナ禍での暮らしが長期化するなかで、子どもを取り巻く環境も刻々と変化しています。生活の中に上手に四季や自然を取り入れ、貴方も心地よく活気ある暮らしを創造してみませんか。

木材市況

六月の原木市場への入荷量は、前月比三二パーセント増（前年比一九パーセント増）の二六、四五〇立方メートルとなっている。

販売量は、前月比三三パーセント増（前年比二一パーセント増）の二六、五八三立方メートルとなっている。

七月の価格は弱含みとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2021年７月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	9（9～10）	0	（0～0）		10（10～10）	0	9（9～10）	0
		10～14		並	スギ	15（15～16）	0	（0～0）		14（13～16）	△1	15（13～16）	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	16（15～18）	△1	14（14～14）	0	19（15～23）	0	17（14～23）	0
				並	ヒノキ	20（18～22）	0	（0～0）		24（22～26）	0	22（18～26）	0
			6.00	並	スギ	19（15～22）	0	10（10～10）	△4	22（20～23）	2	18（10～23）	△1
				並	ヒノキ	28（28～29）	0	（0～0）		29（28～30）	0	29（28～30）	0
		20～28	3.65	並	スギ	15（14～15）	0	11（10～13）	△1	15（13～16）	0	14（10～16）	0
			4.00	並	スギ	15（14～15）	0	11（10～12）	0	14（14～15）	△1	13（10～15）	△1
				並	アカマツ	10（8～11）	△1	（0～0）		11（9～12）	0	10（8～12）	△1
			1.80	並	アカマツ	7（5～10）	0	（0～0）		9（8～10）	0	8（5～10）	0
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		33（33～33）	1	33（33～33）	1
				並	米マツ	（0～0）		36（36～36）	2	35（35～35）	3	36（35～36）	3
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		32（32～32）	2	32（32～32）	2
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		32（32～32）	2	32（32～32）	2
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		32（32～32）	2	32（32～32）	2
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）	0	（0～0）		7（7～7）	0	7（7～7）	0
				並	広葉樹	10（10～10）	0	（0～0）		（0～0）		10（10～10）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0（0～0）	0	7（6～8）	0
	13～14		並	カラマツ	0（0～0）	0	8（7～8）	0
	16以上		並	カラマツ	13（12～14）	1	9（8～10）	0

注）１．前月差の△印は値下りを示す。
２．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
３．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
４．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

「きのこシーズン到来」に想うこと

福島県会津農林事務所　高畑　純

野生きのこのシーズンがやってきました。今年は例年に比べ、発生が二週間ほど早く、採取者の電話対応や、出荷制限きのこ指導に奔走する毎日です。マツタケの一部制限解除の検査対応など、きのこ関係は全てが優先業務で多忙を極めています。

そんな中、日に日に下がりゆく気温に、ほくそ笑む職員がいます。平成二八年、二九年の春に、マイタケ原木を一二〇玉伏せ込んだきのこハウスの寒冷紗の下には、マイタケが大量に発生し始めます。六年前から筆者の畑で試験的に栽培し始めた原木マイタケは、昨年には三〇キログラムを超える収穫となり、驚きました（未検査のため出荷せず）。原木を譲っていただき、一昨年に他界された下郷町の師匠にも素敵な報告ができたところです。

実家の集落は、少子高齢化が進み、小学生は一人もおらず、青年団の最若齢は五一歳という状況で、定年退職後の農業が一大産業となっています。若い夫婦二人で近隣の会社に勤務したくても、高齢者の面倒を看るために、一人は自宅に残らなければいけない状況です。

そこで目を付けたのが、集落内のほとんどの家庭にある自宅脇・裏の小区画の畑での、原木マイタケ露地栽培です。畑に原木を伏せ込めば、手つかずで荒れた畑の除草の手間が省け、施肥も必要なく、夏場に若干の散水程度でマイタケが収穫できるのではないか。これは高齢者でも作業可能で、区長さんなどの下で日中この作業に携われば、若い世代も安心して近隣都市部に勤務できるのではないか、という目論見でした。

来年は、集落内の高齢者の方々とともに、新たに伏せ込みたいと考えています。特用林産という林業の分野を活かして、片田舎の高齢者が生き甲斐のようなものを見つけていく。こんなことが少しずつ実現できれば良いと考えています。

来年の秋も、ほくそ笑むことができるでしょうか。こうご期待！

８キロ近い株を収穫する筆者
（大豊作だった令和２年10月）

はなしのひろば

旅

少しずつ遠のいていく光が落ち着きをみせた頃、岩手県に旅したことがあった。列車は、まだ、特別急行「やまびこ」の時代で、盛岡まで三時間を要した。そこから、更に在来線で向かったのは「渋民」であった。歌人石川啄木の育った地を歩いてみたかった。

渋民駅の改札口を出て思わず背筋が伸びた。今まで本でしか見たことがなかった「渋民」の地を、これから歩けるのだと思ったら、嬉しさと感動が入り交じったようだった。そこで見上げた空は、きれいな水彩絵の具のような水色に、白を刷毛でさっとなぞったような、少しかすれた雲が一筋。とてもきれいだった。

「不来方（こずかた）のお城の草に寝ころびて　空に吸われし　十五の心」（こんな空だったのだろうか…）渋民村は、静かなひっそりした村だったが、あちらこちらに啄木の歌碑があり、当時の啄木の心情が、時代を超え、今も伝わってくる。が、本で読むのとは違い、石に刻み込まれた歌は、重力をもち、雨のように自然に下に流れ、心にしみ込んでくる。岩手山を遠望する丘に建つ、碑に刻まれた望郷の歌も然りだった。歌碑の前で、ふと、（あなたは、今、どこにいるのだろう）と、思ったものだった。

渋民の旅は、人の営みの後ろからゆっくり時間がついてくる、そんな旅だった。十月のわが故郷の空に、あの刷毛でなぞったような雲が見られると、渋民の旅を無性に懐かしく思い出す。今のこの状況だから尚更だ。（都）

表紙の写真

「秋　彩」

第35回ふくしま緑の写真コンクール　入選

受賞者　石津節男さん（玉川村）

撮影場所：下郷町

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会

発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　飯沼　隆　宏

陽光社印刷株式会社
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

第46回福島県林業祭の参加者を募集します!!

林業祭は、林業を知らない皆さま、これから林業の担い手となる世代の皆さまなど、多くの方々に、森林・林業の役割やその重要性、林業という仕事の魅力について、関心を持っていただくことを目的に開催します。

参加を希望される方は新型コロナウイルス感染症対策として、ホームページより事前申込をいただくとともに、会場内でのマスクの着用、手洗い、手指アルコール消毒など、感染防止に御協力をお願いします。

ご家族連れで楽しんでいただける内容となっていますので、皆さまからの参加申込をお待ちしています!!

日　　時　令和３年10月24日（日）　９：30～15：30

会　　場　郡山カルチャーパーク　第３・第４駐車場
（福島県郡山市安積町成田東丸山61）

募集人数　1,000人

イベント　林業アカデミーふくしまPRブース、高性能林業機械やドローン操作体験コーナー、森のオークション、チェーンソーアートショー、そまリンピック（チェーンソー技術コンペ）、きのこまつり、森林の仕事ミニガイダンス、木工品や農産物販売　等

参加をご希望の方は、下記ホームページURLよりお申し込みいただくか、県林業振興課へお問い合わせください。

お申し込み　https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/

お問い合わせ　県庁林業振興課　024－521－7426

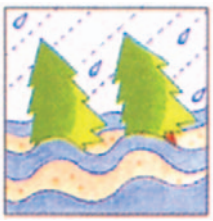
主催　福島県林業祭実行委員会　後援　郡山市　協賛　(一財)福島県林業会館

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》
◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹
または最寄りの森林組合

For the future with forest
イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

ISO 14001 JQA-EM4425 本社・工場
JAB MS CM009

（南東北支店） 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店） 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

林業福島 十月号 通巻第六八六号
令和三年十月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 飯沼 隆宏
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一一〇円
年間購読料一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

新商品　猪レスSTOPテープ　ヒルノックWスプレー　ヒルノックW

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1−19−10　お問い合わせ TEL. 03(6740)7777　平日 9:00〜17:00（土日祝日は休み）

ZENOAH®

人と共に　緑と共に

For Professional

BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional

GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR

刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100

破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1